

令和5年度 伊香高等学校 学校評価（アンケート結果）の分析

昨年度から「魅力ある高校づくり」地域連携の実践モデル校として、また、本年度からは文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業」の指定を受けて、魅力化に取り組んだ。特に、地域をフィールドにし、地域と連携した活動に力を入れ学びを深められたことが、生徒、保護者、教員、学校関係者のアンケートからうかがえた。【生徒2、保護者2、教員1 学校経営、学校関係者1 学校経営】来年度は、生徒や保護者、地域のニーズをもとに更に内容を充実させたいと考えている。

学習指導においては、基礎基本が定着するよう丁寧な学習指導を行っていることに高評価をいただいていることが、生徒、保護者、学校関係者のアンケートからうかがえた。【生徒3、保護者3、学校関係者2 学習指導】BYOD による一人一台端末を効果的に活用し、それぞれの学力に応じた個別最適な学びを進めている。また生徒の学習意欲の高まりや学力向上については、生徒・教員ともに評価が高い。【生徒4、教員2 学習指導】学びへの興味・関心が更に高まるよう、各コースの学習で教科横断的な探究活動を取り入れ、更なる授業改善に努めたい。

生徒指導については、全教員の共通理解のもとで服装やマナーの指導を行っているが生徒、保護者の評価【生徒5・6、保護者6】は教員の自己評価【教員3 生徒指導】と比較すると低くなっている。またいじめの早期発見、対応については、生徒、教員、学校関係者の評価は高いが、【生徒7、教員3 生徒指導、学校関係者3 生徒指導】保護者の評価は、低い結果となっている。【保護者7】従来からの生徒指導のあり方そのものを再検討し、「生徒・保護者とともに考える生徒指導」「支える生徒指導」に取り組んでいけるように、教員自身が、研鑽を積む必要があると考えている。また、生徒に寄り添う姿勢を大切に、いじめの早期発見と情報共有、初期対応に努める。

学校行事（体育祭、文化祭等）への満足度は、生徒、保護者、学校関係者も高い結果であった。【生徒10、保護者10、学校関係者5 特別活動】コロナ禍の制限が解除され、PTAの役員の皆さんが文化祭で模擬店を出店してくださったり、多くの保護者が生徒の様子を見に来てくださったりするなど、体育祭と文化祭を盛り上げていただき、生徒も充実感を持って活動することができた。

来年度は、地域との連携を更に深め、県北部ならではの新しい学びを創造し、令和7年度新学科「森の探究科」開設に向けて、学校全体で取り組む。また、ホームページやSNSを活用して学校の情報発信に努めて、地域とともに歩んでいけるよう、取り組みを推進させる。